

若手研究者コラムリレー

中須賀 巧 (なかすが たくみ)



プロフィール

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 講師
日本体育学会の専門領域: 体育心理学/体育科教育学

- 2013年 九州大学大学院人間環境学府行動システム専攻 単位取得退学博士(教育学)
- 2013年 大阪体育大学大学院 助手(土屋研究室)
- 2014年 福山平成大学福祉健康学部健康スポーツ科学科 講師
- 2016年 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 助教
- 2019年 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 講師(現在に至る)

E-mail: nakasuga@hyogo-u.ac.jp



(左: 阪田俊輔先生、中央: 筆者、右: 杉山佳生先生)

わたしの研究

体育授業の雰囲気づくりは大切!

学校体育における動機づけ雰囲気に興味関心があります。動機づけ雰囲気は学習場面での重要な他者(教師やクラスメイトなど)によってつくられる環境(雰囲気)と言われています。最近では、努力に価値が置かれ、練習や技能習得など熟達に至る過程を重視する熟達雰囲気と能力に価値が置かれ、競争や他者比較を通しての達成を重視する成績雰囲気、仲間との協同体験に価値が置かれ、技能習得や他者比較(競争)よりも生徒間の相互作用を重視する協同雰囲気を加えた3視点の研究も進んでいます。私は主に学校体育において生徒がこれらの雰囲気をどのように認知し、それがどういった教育的効果をもたらすのかを研究しています。ここでは、これまでの研究でわかったことをQ&A形式にしてみました。

- Q 体育への好意的態度を高めるためには?
- A 成績雰囲気よりも熟達雰囲気を認知させるような授業展開の方がいいと思います。
- Q 体育を通して運動の良さを理解してもらうためには?
- A まず熟達雰囲気をつくるのが望ましいです。その一方で成績雰囲気は、教師が率先してつくるのはNGですが、クラスメイト間(生徒主体)でつくる成績雰囲気は、生徒に運動の良さを理解させることに有効かもしれません。
- Q 体育授業での活動満足感を高めるためには?
- A 熟達雰囲気を強調するような授業展開が望ましいです。ただし、男子生徒には、成績雰囲気を強調する授業展開も単元が進む過程で必要になります。

これからも動機づけ雰囲気を幹に、児童・生徒の学習意欲向上や生涯スポーツ促進に有効的な体育の授業雰囲気づくりとは何か?について日々探究していきます。

わたしの渾身の論文・書籍・記事

必読

中須賀 巧, 阪田 俊輔, 杉山 佳生 (2018) 体育学習における動機づけ雰囲気, 目標志向性, 生きる力の因果関係の推定. 体育学研究, 63(2), 623-639.

(なんでも帳)

学会参加後の院生たちの成長

学会大会は、院生たちの成長の場であることは言うまでもありません。日本体育学会では、様々な学問領域の先生が日本各地、さらには世界からも集まり、研究に対して貴重な意見・助言をいただくことができます。毎年、研究室のメンバーも発表・参加させていただいております。学会大会後にゼミ生たちのスッキリした顔を見ていると「やっぱ学会っていい機会を提供してくれるところだな」と痛感しています。ここでは、学会大会でお世話になったゼミ生たちが最終的に執筆した修士論文について、スペースの都合上、タイトルだけになりますが、ご紹介させていただきます。

- 中学校体育の球技学習場面における原因帰属様式、授業満足感、学習意欲の関係(2017年度修了生)
- 小学校体育授業における楽しさが単元移行に伴う愛好的態度に及ぼす影響—個人種目に着目して—(2017年度修了生)
- 中学校体育における学業的援助要請と失敗観の関係—勤勉さに焦点を当てた多母集団同時分析による検討—(2018年度修了生)
- 中学体育における生徒の劣等コンプレックスに関する研究(2019年度修了生)

最後になりましたが、ゼミ生たちにいつも貴重な機会を与えてくださる日本体育学会に心より感謝申し上げます。

○次回のコラムリレーは東京理科大学の「向本敬洋」さんを予定しています。

日本体育学会若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育学会若手の会が発足しました!
→メーリングリスト登録フォーム:

<https://goo.gl/forms/zGMPdPa5fY3kcB5a2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taiikugakkaiwakate@gmail.com (担当: 木村)

